

苦悩



エネルギー、農林水産業、造船の不振など苦悩の機はつきない。



北海道南西沖地震では釧路支庁を中心に被害が広がり、特に奥尻島は壊滅的な打撃を受けた。

信任

対立を超えて、道民が一体感を持つていき
たい。自分はそのまとめ役なんです。



V2(昭和52年)には、加藤登紀子さんも応援にかけつけて大合唱。道民の期待と信頼はV3(平成3年)でもゆるぐことがなかった。

誰もが、奇跡に酔った初当選を経て、知事は二期目、三期目と、横路道政の成果を、道民に問いつけた。結果は、二回とも二百万票を超える圧倒的な信任を得たのである。

もっくん、ひとつこの政策に対しては賛否両論がある、生まれて、時、時には激しい批判も寄せられる。失敗も確かにあった。高い理想のなかで進んでいるように見える事業もある。

しかし、激しく変わっていく時代の中で、とりわけ厳しい環境にある北海道の紀取りは、彼をいって他にはない。圧倒的な数字は、こつこつと声を物語るものである。

十年前、知事は新しい時代の新しい北海道のランドデザインを描いて見せた。当時は、夢に見えた理念も、この十年間の世界の動きが、その先見性を証明した。「地方の自立」「世界の中心の北海道」「個性ある地域の創造」として、地方自治は「イデオロギー」は「ない」との主張。まさにその予見通りに、時代が動いてきたのである。

次の時代を描ける男、道民たちの熱い信任と期待は、ますます高まっているのである。

今年七月十二日夜、北海道を大きな地震が襲った。記憶に新しい北海道南西沖地震。釧路支庁を中心に被害が広がり、津波の直撃を受けた奥尻島では、ひとりの町と共に約二百人の尊い生命を失った。当日、あると訪問で留萌にいた知事は、すべての予定をキャンセルし、翌朝奥尻島に飛んだ。慰めの言葉も出ない程の大被害だった。

こうした自然災害ばかりでなく、知事の十年は、苦悩の連続でもあった。就任当時は、炭鉱閉山、鉄鋼・造船不況、北洋漁業の縮小、農産物自由化の波、「北海道沈没論」をささやかっていたのである。しかもその構造はいまも、北海道の問題として、背負っているのである。

また、失敗に終わった「食の祭典」や「戦略プロジェクト」をめぐり、汚職事件の発生。もろもろ知事自身はの件に關し、目の監督責任を正式に表明し、減給処分した。

「地域の自立と地方の復興」をテーマに、官営存続費からの脱却をめざし、新しい北海道の創造を進めてきた十年。厳しい現実との狭間のなかで、これからの生まれを、あつちの知事の苦悩は、北海道自立への苦悩に他ならないのである。

道民のみなさんに生気を蘇らせ、人と人の心が響き合う地域社会にするためにも、夢は欠かせません。



そうして中では北海道は、また広大な自然と土地が残っている地域である。観光産業や食品加工、情報産業など、北海道の自然環境と調和する産業が芽を出してきた。またおこむらおむ運動の中で、人材もまた育ってきている北海道で、新しい豊かな価値を自分たちで見つけよう、そんな動きも徐々に広がっている。十五の戦略、フシナも動きはじめていいる。

新しい時代の新しい北海道の挑戦、それは国際主義の挑戦であり、経済自立化の挑戦であり、個性ある地域自立の挑戦である。

十年間、知事が熱く訴え続けてきた夢は、まさに三つの挑戦を通して描かれる。新しい北海道の「ホームタウン」クラウド云々かも知れない。

市町村長からの 声と期待

本道の水産業を守った知事

えりも町長 佐々木隆人

二百海里の定着化に伴い、その影響を強く受けた本道の水産業を守るための知事として、道独自の漁業外交を展開し、また、沿岸域の資源増大や、漁獲物の付加価値向上対策に力を注がれる等、その事績は大きい。

都市と農村の格差是正に
大きな成果

鶴居村長 錢者和三郎

都市と農村の大きな格差の一つに下水道整備の問題がある。さらに環境問題の中で水質保全が叫ばれているとき、農村地域の生活排水、家畜のふん尿処理対策が大きな課題である。

自ら考え汗を流す機運を醸成

室蘭市長 岩田 弘志

この十年は、室蘭の長い歴史の中で最も困難な時代であった。二十二年の高低休止の発表で、室蘭地区の市況、況況企業が非常に動揺した時期に、道は室蘭地区の再活性化のため、中小企業振興を図るをスノ・センターの充実や企業誘致に努め、金型工業などの産業が根

産炭地域の振興に積極的な手を

砂川市長 中川 徳男

されて大きく後退した。しかし、道政の枠の中の改善策には限界があると思うが、形の消滅した産炭地域の振興にはもう少し積極的な手を

横路道政の一村一品に期待

愛別町長 久米 敏

今後ともスケールの大きな活躍に期待

小樽市長 新谷 昌明

知事は、御就任以来、北海道の経済振興対策をはじめ、福祉、教育、環境問題 etc パランスのとれた道政を進めて来られました。

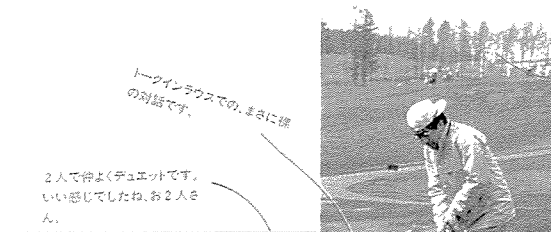
より、地域の未来を担う若者達とも膝を交えて語り合い、まちづくりに大きな効果を上げております。また優れた国際感覚を生かして独自の自治体外交を展開されております。

きな活躍をされましますとともに、道内自治体に対し温かい御指導を賜わりますようお願い申し上げます。

1983. 4 知事選出後、核施設建設スタート
5 第4回サウーデーに核施設建設参加(24年ぶり)
6 知事、憲法記念日に「善法施業碑」発表
7 初の市町村サウーデー(松山支庁管内・熊石町)
8 「一村一品」運動候補一覧表まとまる→195市町村から400件
1984. 4 全国初の民間企業・団体と道の職員交流施設、道職員市町村への研修派遣制度を新設
4 動燃高レベル放射状廃棄物施設を概観的に計画
5 高寒でいす・自動車生産開始
6 知事、概観的に放射状廃棄物貯蔵施設建設の誤謬指摘で「誤謬を定める考えはない」と表明
7 面商テクノポリス指定決定
8 道が「営業の行方」第一歩→引手製作完成
9 道が「倉庫」使用延長を1年ぶり→実施要綱
10 核施設、千歳川放射状貯蔵で「西ノ浦」は「道」と「民」共有
1985. 4 北海道新立地促進条例の制定(最高12億円の補助)
4 核施設、動燃に核燃料の核施設建設の立地調査「反対」回答
5 道が「一村一品」を推進
6 中国、黒龍江省と友好提携調印
7 「道の省」道が差別化に建設決定
8 韓国情報公開制度で核施設知事訪韓
10 道の情報公開制度スタート
1987. 3 北海道道「道民賞」の立候補に答えるを表明
3 北海道女性自立イベント「知事」に出席
4 核施設再進出
4 国共新民主党化、J.R北海道誕生
4 北海道開発局、千歳川放射状貯蔵の東ノ浦へ発表
7 三井砂利道開港
7 知事訪日、ハバロフスク地方、サハリン州に経済交流を発展
7 道「東京事務所」に「リターン情報コーナー」
1988. 3 北海道真谷川水質調査
3 青森県に核燃料
4 北海道道長短期計画スタート
5 第5期北海道建設・開発計画閣議決定
7 千歳空港開港
10 北電自産原発開始
10 道の救急医療情報システムスタート
12 「白」投資案実現を閣議否決(2・棄権)
1989. 2 中央テクノポリス計画承認
2 池田千鶴が第3セクター「ふるさと銀河」として再出発
5 はまなす国体が開かれ、本道総合保健
10 道米新産米「はまなす」デビュー
10 道、全国初の「湖沼環境保全基本方針」を策定
1990. 1 ハバロフスク地方経済代表団来道
4 アメリカマサチューセッツ州と姉妹提携
2 適合化計画で発生→61年度、31万人結集
3 三菱南大次核施設建設
7 道「北海道建設・高齢社会ビジョン」を発表
7 北海道新立地促進条例
7 道議会、核施設反対決議を決議
7 核施設建設協議(道新)、道民の支持率84.5%に
8 サハリン州からやけどの少年コンスタンチンへは、札幌地区に緊急搬送
10 核施設再進出、三進出を表明
1991. 4 核施設再進出
4 スバクアール規制スタート(札幌圏)
7 無重量実験センターオープン(小砂川)
12 ウーレイ湖、ラムサール条約に正式登録
1992. 2 道立立食加工研究センターオープン
4 札幌市とのビジネス交流の開始
4 第2期テクノポリス面商の開発計画承認
5 三菱製選出による定置高炉の再稼働決定
7 核施設再進出、サハリン州で対話会開催
7 千歳空港、新の千歳国際ターミナルオープン
3 三井砂利道開港
3 トヨタ自動車北海道本格操業開始
10 土橋高層道路計画調査に着手
11 日・ロシア建設・道産・ロシアサハリン空間交流施設に合意
1993. 1 核施設
2 道庁新庁舎建築法の指定(帯広市)
3 千歳空港の24時間運用に伴うテストフライトの実施
7 北海道南西沖地震
8 核施設再進出、三井砂利再訪

Photo Documentary Graffiti

番外グラファイティ



トーウィンハウスでの、まさに輝
の対話です。

2人で仲よくデュエットです。
いい感じでしたね、お2人さ
ん。



マスターズ出場も夢ではない?
—ということはないなア〜。

「おっ、これがヒマワリナッツかい。うまそー
だね、どれ。うん、うまい!」



4つ子ちゃんと対面へん。
「私がパパよ、じつなくて、名
付け親ですよ」



「いやー最近目がちよつとね〜。
えっ、おい、覗くのかい?」



ミスターカワボーいきまってる
すねー。



「この熱気球大丈夫かな〜」
「大丈夫、大丈夫」



重量証明片
—52kg—
横路孝弘 52.0kg
あなたが目標としていたのが
ボッチャは重宝な結果の結晶、
これの重宝であることを証明
します。

鴻川市の「おおいでっかい
どうカボチャ大会」での重量
証明書、知事が習ったカボチ
ャです。

少花 祐



「ん、どうなの靴ずかしいの」
「...うん」

知事! 期目のお正月、秘書
課の女性たちとデュエット、ひ
どい、こぶしが効いてるね〜。

見よ! このコントロールを。
高野道北海道大会給球式。



どうです、この堂々の役者ぶり。知事扮するは目録交易の立て役者、
高田豊蔵兵衛、ん〜ん歴史の妙ですね。函館野外劇場の一幕で
した。

この十年間、横路さんは北海道を肩に、
道内はもとより、道外、海外へと八面六
臂の大活躍。行く先々ではほんとうに多
くの人々と温かな交流を深めてきました。
その膨大な記録の中から、人柄がしのば
れるとっておきのスナップをお届けします。



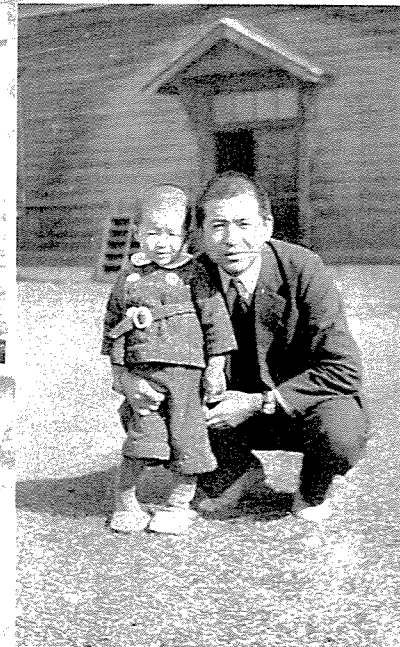
私の写真館

ポートレート
家族のいる風景、「私」の時間。

1945~1993

もっとも大切にしているのは、「妻」。
幸せだと感じるのは、「家族と一緒の時間」。
短い言葉の中に、ネクタイを外した、横路孝弘の素顔がのぞく。
家族のいる場所——いつもここへ帰ってくる。

1945 4歳。
札幌市立幌西小の教師
だった父・節雄と。



1951 小学5年生の夏、弟の洋(右端)と。



1962 東大教養学部2年生の頃。
公安条例研究サークルの仲間と。



1963 東大法学部時代。自治会選挙の頃。
同期の江田五月氏と。



1965 東大の後輩だった由美子と、この
年コールイン。



1993

ある日の独白

——もっか一番の楽しみ

ビデオやテレビで映画を見ること。読書も、推理小説から恋愛小説、時事、経済まで幅広く超スピードで楽しんでいる。ゴルフはなかなか時間がない。

——最近怒ったこと

金丸事件、政治改革、旧ソ連核廃棄物投棄など、怒りを乗り越えてあきれている。

——いま一番興味あること

北海道・ロシア・中国・朝鮮半島の民族の長い交流の歴史。

——幸せだなあと思うのは

一日の仕事を終えて、家に帰った時。東京出張の折、たまに娘と息子と一緒に夕食をとること。

——もっかの悩み

なかなか癒せないこと。

——最近感動したこと

テレビ番組で見た、普通学級に通う小学1年生の双子の姉妹の話。妹が脳性マヒで、歩行と言語に障害がある。社会の中で二人を育てていく、優しく賢いその両親の生き方と、双子の努力に胸打たれた。

——新しく始めてみたいこと

考古学のようなこと。あるいは文化人類学の勉強をまとめてやってみよう。

——これだけはやめたい

夜、遅くまで起きていること。

——もし長期で休暇が取れるとしたら

妻と2人で旅行がしたい。司馬遼太郎の「街道をゆく」などが沢木耕太郎の本など携えて、自分の目で見てみたい。美術館などもゆっくりまわってみたい。

——もっとも大切にしているもの

妻。
それから健康は大切にしなければと思っている。

——この10年

あっという間だった。

M Y F A V O R I T E A L B U M

1991



1988



1992

長男・史生の結婚式で、空想であっての記念撮影。東京・早稲田教会にて。

1988



知事2期目の正月。(前列左から)母・美喜、妻・由美子、長男・史生(後列左から)長女・由希子、次男・朋生



1983

長女・由希子(中1)と仲良きポーズ。「きっと手をつないだのは、この頃が最後じゃないかしら」(妻・由美子談)

197?



代議士になったばかりの母・道恵の青年セミナーで。



1972

31歳、代議士時代。長女・由希子(2つ)、次男・朋生(1つ)と、大通公園にて

「北海道独立運動」が 若者たちを変える!?

STVラジオ平成五年六月十九日放送「加納典明の七転八倒」より

(加納)

(橫路)

横路 一しちびぢ、ボ、しつ、キ、う、くへ。

横路 畑さんのところに、来られた動

加納 あのですね、畑さんに取材に行

もしないうちに、オートバイと本だけ

横路　それでどうでした、その四年間



加納 文字通り、自然の中にいた。僕

事、ということだと思っんですね。

「男と女の間には能力の差があると思う」

す。(横路)

たりするんですが。(加納)

なづなかりはやはり薄いんですよね。

横路 北海道はやはり明治以降から

うと四代目、父の方でいうと三代目と

中心にそれ以前の長い歴史を持て

自に大徳三代から四代くらいと
相内 印事するでずか。

宮城県です。北毎道の人とは大体そうで

すから。最初はやはりこちらの方で――

横路 孝弘
VS
加納 典明

知事室拝見

I'm
Here.

北海道行政の頂点に立つ横路さんの仕事部屋について、
いったいどんなところなんだろう。好奇心いっぱいの本
誌ヤシ馬探検隊は、いさか緊張気味にまずは知事の
登庁前にとっせりと、のぞきに出発。ひょっとしたら、
いままでも知らない横路さんの一端を発見できるか
もしれないぞ。とばかりに探検隊は大奮闘。知事室の
あちこちを猿犬のように嗅ぎ回りました。まさに
「追っかけ」。これもファン心理のなせるワザと思ひ、笑っ
てお許しください。それでは我がヤシ馬探検隊の決死
のノ（なにが決死なのかわかりませんが）知事室探検レ
ポートをお届けします。
（本誌ヤシ馬）

●本棚には、政治・経済などのほかに、余市町出身の日本人宇宙飛行士・毛利衛さんの写真とその著書があった。これはほんの一部、この他にも愛読書は自宅と奥の個室の書棚にたくさんあるのだ。

●イスの背後の壁には、道庁各セクションの部長クラスの在室、外出がひと目でわかる電光ボード(出退表示器)。いちいち確認しなくてもすむので、これは便利。

紙くず入れ

●紙くず入れ！

ムムムム、なんだ、これは。庁内のあちこちの廊下で見かけるスチール製のゴミ箱ではないか。頑着なくあくまでも武骨にデンと恥ずかし気もなく納まっている。使っている人の気取りのない人柄が偲ばれ、すなへ。

●知事の机

歴代知事が使用していたもの。机上には各社の新聞をはじめ、案件資料が整然と並んでいる。

●知事室へ向かう前のロビーには各地の一村一品の品々が展示されている。訪れる人に少しでもアピールしたいという知事の熱い思いが伝わる。

知 事室は三階。東側エレベーターを降りるとすぐ右手が知事室。受付の女性にはほろりかけられ奥正面(東側)に各地の一村一品が展示されているロビーがあり、通称「松の廊下」が左右に走っている。その左側、北側に秘書課の部屋があり、すぐ隣が知事室。我がヤジ馬探検隊は、秘書課の奥の入り口近くにあって

●警備の人、決してコワイ人じゃありません。とても親切な方ですよ。



●受付の美女の笑顔に、我がヤジ馬探検隊の緊張もやわらぐ。

アから、まんと進入に成功!!(もともと秘書課の人はみんな見えたはず)とね。こは、まきしレビの○○○○スベシル風に乗風をお楽しみしたいというところ。知事室は、決して華美なものではなく、ジュータンやカーペット、机なども古品のたまたますまいふく、案外つましやかなんだな、などと思いつ、すずくんと突入。空の

外を見ると知事室は案外低い感じ、外のほとんどの建物を見上げようなアングルになる。道民を見下ろす位置じゃないと、アがいい。私たちが選んできた歴代の北海道知事は、やはりみんなそれなりの見識の持ち主であつたんだなあと感心しつつ、さすく目を皿のそとにぞく。

●平成5年度の気象表です。知事は農作物に多大な影響を与える気象にとっても敏感のようだ。秘書課の方の話によると、それだけ詳しい知識もあるということ。うへん、毎日ここで天候や気温をにらんで、全道の畑や田んぼや農家の人々の顔を思い浮かべているんだなと、ジーンときましたね。

●西側の壁にかかっていた「交通死亡事故発生状況」のパネル。事故ポイントにマチ針が打ってある。そーと一交通事故を気にしているそーです。

●発見！筆記具にエンピツが多い。横路さんはエンピツをよく使うようだ。チェック用には水性ボールペンが気に入りのこと。

●知事応接室
ここで難しい問題がいろいろ討論されるんでしょーね。

知事室
I'm Here.
拝見

知事室
I'm Here.
拝見



●話題が函館野外劇出演の演技の話になった時のこの表情。み～んなこの笑顔にまייっちゃうんですね。

●560万道民の生活がズッシリと、このトロのよ～な肩に、頼もしいかぎりです。

あ、横路さんが来てしまった。机の引き出しの中をのぞいて、思った以上に残念。知事室の空気が一気にビーンと張りつめたように感じた。なにやらこんなふうな目とちらちらと見た。秘書がスケジュールなどを持て入室。そして緊張した感じだったね。ワケもなく、くさくさすると思ってしまう。

さくスケジュールを目を通し、指示。

何かの資料を要求。また秘書が緊張気味に隣の部屋から現れる。道内の経済状況を表した最新のデータのようだった。何やら手を取って。

「あの、勝手におしよりますとオスオスと声をかけるのもうた秘書には話は通して、したけどな。」

「あ、いや、自由は、そんなに珍しくないものではないですよ」と言いつつ、また話をしている間も手は動いている。企業経営にも経済的な波及効果が、初めて数字として出たものらしい。なかなか数字が出てたようだった。表情が少しなごむ。こちらも適度なくハシバシ、カスを向けた。

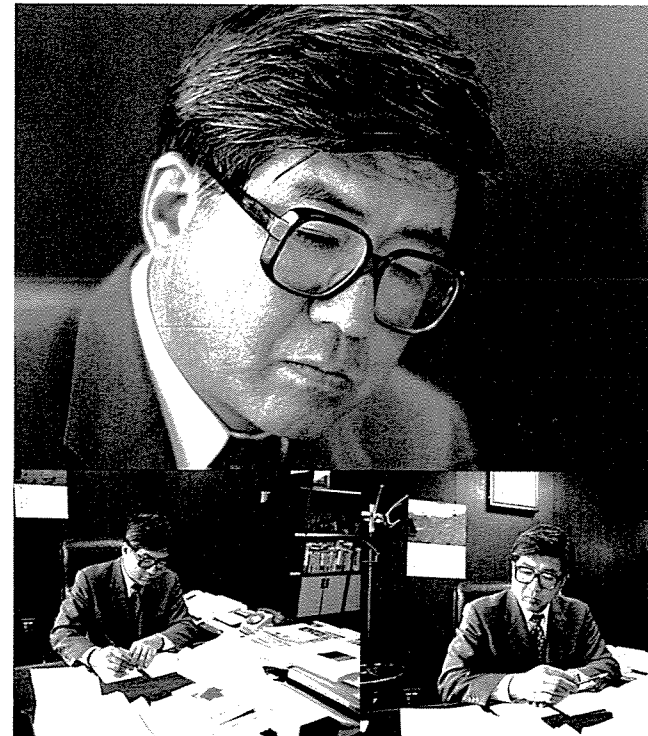
「あとで講演があるの、その準備に……」また手を取り。自らの言葉で語り、横路さんの思いが、このころまで伝わってくる。うん、おめなだ。

最近テレビやラジオなどに登場する知事の顔が、以前のような危ない笑顔が少なくなつて、その発言も、どこか公式的なものが多いような気がして、ちょっとばかり寂しさを感じていた。我がヤシ馬探険隊はハッと、その時気が

がついた。アル。五百六十万道民の生活をズッシリとその肩に担ってきた十年間という歳月を。

空気が厳しくなつて、当たり前。無邪気な顔をふりまいていられなくなつた。当たり前。発言が慎重になつて、当たり前。時には黒子に徹し、また時には顔を下げて回る北海道のセールスマンとして、深く静かに事を為す。重い責任とひとり決断を下す孤独。あー、の人は見事に耐えているんだ。そのトロのよ～な後姿を見よ（横路さん、めんなさい！）体重をとこも気にして、おろって聞いているに言つてしまつた！ 決して私たちの選択は誤つていなかったのだと、我が探険隊はあらたに納得したのである。

●スケジュールや資料にサッと目を通す。スケジュール調整を秘書に指示。う～ん、カッコイイ！



●自ら講演用の草案づくり。エンピツを使っています。

十年前に、
静かな船出をした北の大地は、
幾多の波にもまれながらも、
新しい北海道の創造に向け
着実に歩み続けています。

あとがき

横路待望論が、あちこちから聴こえてきます。

10年前、知事就任の時に提示した
地球的視野から見た、北海道の国際化。
地域経済の自立化。
「経済成長偏重の価値観」を超えた個性ある
地域づくり。

そして
保守のイデオロギーを乗り越えた
道民党のスタンス。

そのひとつひとつが、世界的激動の10年を経て
北海道のみならず、
日本の、世界の、課題となり、潮流となっています。

「地域を考えることは世界を考えること」
新しい世界の新しい価値。
それは、まさに、横路知事が
私たちの北海道で訴え続けてきたことなのです。

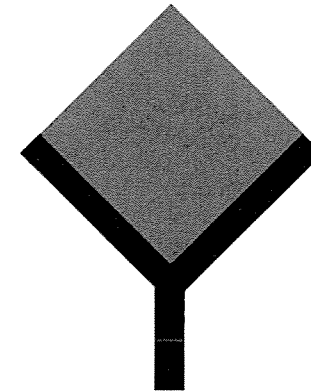
政治家横路孝弘に
対する高い評価と期待。

でもそれは、私たちが、支え続け、描き続けた
新しい北海道への10年間の挑戦に対する
大きな評価なのかも
知れません。

(編集部)



発行
すみよい北海道をつくるみんなの会
札幌市中央区北2条西3丁目正門館ビル12F ☎ 011(251)4532
発行日 平成5年9月1日



いいね、北海道。 いま、新・開拓時代。

あなたと知事を結ぶ

よこみちテレフォン!

■札幌 011-261-1711 ■岩見沢 0126-23-3038 ■苫小牧 0144-33-4531
■稚内 0162-32-4532 ■滝川 0125-24-1122 ■北見 0157-31-1111
■釧路 0154-22-0103 ■函館 0138-55-4532 ■網走 0152-43-5522
■旭川 0166-22-8808 ■帯広 0155-22-4537

すみよい北海道をつくるみんなの会

みんなの会

札幌市中央区北2条西3丁目 正門館ビル12F

☎ (011) 251-4532
FAX
ニ コ ッ ト ヨ コ サ ン ニ

頒価 五〇〇円